



平成31年度 施政方針 【要旨】

第420回 市議会定例会

基本目標

1. 市民と行政が協働するまち
2. 健康で、安心して住み続けられるまち
3. 文化を育み、心豊かな人を育てるまち
4. 地域資源を活かした、活力あるまち
5. 安全・快適で、持続的発展が可能なまち
6. 平和をつなぎ、未来へ発展するまち

基本目標1 市民と行政が協働するまち

▼「協働のまちづくりと開かれた行政の推進」

複雑多様化する地域課題の解決に向け、多様な主体が連携・協働できるよう、住民自治による地域づくりを促進します。

自治会に対しては、自治会加入世帯

数に応じ、補助金を加算する制度の創

設や、自治会加入促進パンフレットお

よびステッカーの制作など、今後も自

治会と連携し加入促進に努め、老朽化

した公民館の整備については、早期の

事業化に向けて取り組みます。

▼「男女共同参画の推進」

「第3次宜野湾市男女共同参画計画」は「ごろもふらん」に基づき、諸施策を進めます。

▼「国際・国内交流の推進」

多文化共生社会を推進し、在住外国人に対するサービス向上に取り組み、日本人も外国人とともに暮らしやすいまちづくりを目指します。また友好都市である中国廈門市の廈門理工学院への留学生派遣事業も継続実施し、友好都市交流の発展と国際感覚豊かな人材育成に努めます。

▼「効果的・効率的な行財政運営の推進」

「マイナンバー制度の「情報連携」の運用を推進し、「証明書コンビニ交付サービス」の利用促進に向け、マイナンバーカードを普及促進します。

行財政改革の推進については、行政の担うべき役割の再検討や、事務事業の見直しなど、平成32年度に向けた組織機構改革の検討に取り組み、より効

基本目標3

文化を育み、
心豊かな人を育てるまち

▼「未来を担う人間力の育成」

幼児教育については、保育所（園）、幼稚園および小学校の連携体制を構築し、小学校教育への円滑な接続に努めます。

小中学校教育については、『確かな

学力の向上』を目指し、より一層の学

力向上に向け、学習支援員を全小中学

校に配置し、児童生徒一人ひとりに、

「確かな学力」が確実に定着するよう

努めます。

特別支援教育については、支援を必

要とする一人ひとりに適切な指導・支

援を行い、保護者が安心して子どもを

学校へ通わせることができるよう支援

します。

国際化に対応できる人材を育成するため、小学校英語教育課程特例校事業において、英検ジュニアの全額助成および中学生を対象とした、英語検定料の半額助成を継続実施します。また、将来グローバルな視野で、海外でも活躍できる人材を育成するため、市内在住の中学生10名の短期アメリカ留学の派遣費用について、『普天間未来基金』を活用し全額助成します。

豊かな心・健やかな身体の育成のため、道徳教育および人権教育を推進し、児童会・生徒会活動を通して、学校生活の向上と充実を図り、不登校児童生徒数の減少に努めます。

いじめ問題については、未然防止・早期発見に努め、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、学校、地域、

果的・効果的な行財政改革を強力に推進します。

職員の人材育成については、研修の充実や、人事評価制度を実施し、職員の資質向上に努めます。

ふるさと納税制度を活用した寄附については、積極的な周知活動およびクラウドファンディング型ふるさと納税による寄附により、歳入の確保に努めます。

基本目標2

健康で、安心して
住み続けられるまち

▼「地域福祉の推進」

市民一人ひとりの個性や考え方が尊重され、誰もが安心して暮らすことのできる『チュイシージー（互いに助け合う）』の福祉社会の実現を目指すとともに、地域の相談窓口である『チュイシージーセンター』の機能充実に努め、支え合い活動の内容充実に取り組みます。

▼「子育て支援・子育て環境の充実」

平成31年10月から実施予定の幼児教育・保育の無償化については、国の動向を注視し、その対策に取り組みます。

待機児童対策については、認可保育園1園の増設を行い、待機児童の解消に努め、潜在保育士の掘り起しおよび保育士の働く環境づくりの施策を実施し、保育の質の向上に努め、認可外保育施設への支援についても、入所児童の処遇改善を図ります。

児童の健全育成の支援として、児童健全育成巡回事業を実施し、放課後児童クラブの利用者負担についても、家

家庭が連携・協働する組織体制を確立します。

子どもの抱える課題の解決、問題行動等の未然防止や改善等に取り組むため、公立全小中学校にスクールソーシャルワーカーを配置するほか、街頭指導員の巡回による、深夜はいかい防止など、問題行動の未然防止、早期発見に努めます。

学校給食については、沖縄料理の献

立など、学校給食への関心を高め、食

に関する正しい知識と、望ましい食生

活を身に付けさせる食育を進めます。

また、保護者の負担軽減として、小学

校給食費助成事業を継続実施します。

▼「地域に開かれた学校づくりの推進」

学校と地域の連携・協働をより一層推進するため、『コミュニティ・スクール』を全小中学校へ順次導入します。

公立小学校への電子黒板等ICT機器の整備を実施し、ICT支援員の授業支援等により、教職員の業務を効率化し、負担軽減に努めます。

学校施設の整備については、大謝名小学校屋内運動場・水泳プール増設事業に取り組み、学校敷地保全対策事業として、倒壊の危険性のあるブロック塀についても、早急に安全対策を講じ、安全・安心な施設環境を確保します。

▼「地域活動を通じた学びの充実と文化の継承」

市民図書館においては、10周年を迎えたブックスタート事業を継続実施します。

文化財整備については、地域の文化財を紹介する「歴史・文化遺産マップ」や「地域文化財案内板」を充実させ

庭環境に応じ軽減します。

こども医療費助成事業については、0歳から就学前までを対象とした現物給付方式を実施し、通院医療費は、小学1年生から小学6年生まで、入院医療費は、中学卒業までを対象として助成します。

ひとり親家庭の生活の向上と安定に向けては、児童扶養手当が平成31年11月より、隔月支給に改正されることから、対象者への周知および支給事務に取り組みます。

▼「児童虐待・DVの防止と被害者支援の強化」

児童虐待等の予防および対応として、乳幼児健診等の各種母子保健事業における関係機関との連携や、子どもとその家庭、妊産婦等への相談体制の強化を図るため、「子ども家庭総合支援拠点」の設置を目指します。

DVの防止と被害者支援を強化するため、市民への啓発および教育の充実を図り、DV被害者に対しては、精神的なフォローおよび就業や住宅確保のサポートなど、被害者の自立を支援します。

▼「障がい者（児）福祉の充実」

障がい者（児）やその家族が安心して地域生活を送ることができるよう、障がいに対する理解を図り、共生社会の実現に向けて取り組みます。

▼「高齢者介護・福祉の充実」

『チュイシージー』の心で支えあう高齢者が笑顔で住み続けるまち『ぎのわん』を推進し、市指定地域密着型サービスの質の確保および利用者に適切な介護サービスの提供を行う体制を整備します。

文化財の活用にも努めます。

市立博物館においては、開館20周年の節目にあたり、記念講演会や記念企画展を開催し、歴史と文化を啓発します。

基本目標4

地域資源を活かした、
活力あるまち

▼「観光・リゾート産業の振興」

『琉球海炎祭』等、各種イベントへの支援や、ミュージックイベント等の開催により、西海岸地域一帯を観光客や市民が、より一層賑わい、憩える場となるよう努めます。特産品、市産品の普及促進については、県内外の物産展等の出展料助成や、商工会が行う市産品の販路開拓支援事業に対し補助を実施します。

▼「コンベンション支援機能の充実」

「沖縄21世紀ビジョン基本計画」にある『世界水準の都市型オアシャンフロント・リゾート地の形成』を目指し、国および沖縄県の協力連携のもと、西海岸地域の特性を活かした開発に向け、検討作業を進めます。

春季キャンプを実施している「横浜DeNAベイスターズ」に対しては、念願の日本シリーズ優勝が果たせるよう協力し、その他スポーツコンベンションの振興についても、県外・国外からの観光客の増大に向けたプロモーション活動を積極的に行います。

▼「地域商店街の活性化」

地域の事業者が連携し、まちの魅力と賑わいの創出につながる商店街活動を積極的に支援するとともに、通り会

